

学科名	生物環境科学科						
科目名	ライフデザイン Life Design						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	必修科目(バイオサイエンスコース) 必修科目(食品生物資源コース) 必修科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	アウトソーシング(学研メディコン:嶋田 文広)(学内担当:河済 博文)						
授業の到達目標(シラバスから)	①人間関係能力の醸成-自他との関係を磨きその中で自分を活かす ②意思決定能力の醸成-最善の決定をしてその結果に対応できる ③キャリア設計-自らのキャリア設計を実現する能力を身につける ④キャリア情報検索・活用能力-自分や家庭、仕事、社会への理解を深める ⑤良い習慣を身につける-主体性を持って、時間管理やビジネスマナーを身につける						
日程と内容	第1回 授業の目的と受講ルールの説明-「なぜ、キャリア教育が必要か？」 第2回 自分の「壁」を越えられるか?-「パラダイムシフトという手法」問題発見能力を学ぶ 第3回 自己理解を深めるⅠ-「自己整理シート」の記入と提出 自分史の作成 第4回 自己理解を深めるⅡ-「学生力診断」で成長意欲と学生基礎力を診断する 第5回 学生生活の中心に置くものを考える-「原理原則」を理解する(なんのための学生生活を考える) 第6回 人生の結果-「人生の方程式」を理解する 第7回 リーダーシップとは?-「人生設計図」を描いてみよう!知的創造を実践 第8回 基礎学力チェックワーク-「基礎学力」のレベルを知ろう 第9回 マネジメントを学ぶ-「時間管理のマネジメント」を理解する 第10回 現実社会で生きていくこと-「関心を持つこと」生きることは周りとの関係で決まる 第11回 ロールモデルを探す-「植松電機 植松努氏講演」から学ぶ 第12回 ヒューマンコミュニケーションⅠ-「自分のコミュニケーションスキル」を知る 第13回 基礎学力チェックワークの解説-「基礎学力」の重要性を理解し、維持高める 第14回 ヒューマンコミュニケーションⅡ-「グループコミュニケーション」の実践 第15回 総括:自己理解のスーマー-「他人との関わりを通して、自己理解を深める」						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題	100%		計			100%
	演習						
授業到達目標の達成度	人間関係能力の向上に関しては、毎回のプレスの効果で周囲の学生とのディスカッションを楽しめるようになった。自分の意見を書く・話す力とコミュニケーション能力が向上した。キャリア設計と情報検索に関しては、自己理解を深めることで、目標設定の重要性を認識しキャリアプランニングを実践した。新聞の活用方法を理解し、毎回の課題に活用することができた。他の到達目標もおおむね到達した。						
反省点	オリエンテーション時にシラバスの説明を行ったが、成績評価や授業ルールなどの徹底が不足した部分があった。また、予習と復習として、新聞記事のスクラップと意見記述とディスカッションを毎週行ったが、学生への理解度が低い結果となったので次年度改善する。						
来年度の計画	「何のための大学生活なのか」という目的意識の醸成とワークを再構築する。また、今年度と同様にブレインストーミングとグループワークトレーニングの回数を多く取り入れ、自ら考え、発言する力を醸成していく。主体性を高めるブレインストーミング手法やコミュニケーションスキルを高めるためにも、「相互協力」「相違点を尊ぶ」「安全な場」という認識を強めるように努力する。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業の受講ルールを社会人基準で設定し、徹底しました。また、躰や礼節が身につけていない学生には粘り強く指導しました。厳しく感じる学生もいると思いますが、授業評価の平均値が全科目の平均値より高くなったことは評価できると考えます。自由記述では、概ね肯定的な意見が多く、規律ある授業運営とわかりやすく伝える記述が必要とされていることを実感しました。						
履修登録者数	76名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	65名	合格率	94%